

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	静岡における海外文化の発見ーポスト・コロナ時代の国際関係学の模索②				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	宮崎 晋生
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	高畑 幸
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	森 直香
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	小窪 千早
	発表者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	宮崎 晋生

講演題目	静岡における海外文化の発見ーポスト・コロナ時代の国際関係学の模索
------	----------------------------------

研究の目的、成果及び今後の展望

研究の背景と目的

新型コロナウイルスの拡大で海外渡航が困難になって以来、全国の外国語学部や国際関係学を掲げる学部は軒並み志願者を減らしている。「国際関係学」のなかでも地域研究分野への関心の薄れが見られ、それはゼミナール選択と専門プログラム選択の結果に顕著である。以上により海外旅行や留学を併用する従来型の地域研究・学習のモデルは再考を迫られていると考え、本研究では私たちの生活のなかに息づく「海外文化」を探り、新たな国際関係学のモデルを創出することを目指した。これからの地域研究は静岡における海外文化の存在を実感できる具体的な場を用意することが不可欠なのである。

成果

公開講座『県大×おまちゼミ 静岡で学ぶ世界の文化』として、以下の講座を開催した。

- 第1回「演劇祭は私たちに何をもたらすのか？—SPACの制作スタッフと考える『ふじのくににせかい演劇祭』」SPAC制作部・丹治陽氏、静岡県立大学、於・静岡県立大学、2023年4月13日。
- 第2回「世界に広がるMANAGA」静岡市国際交流員・フォスティン・ボドゥ氏、ヒュー・スティーブンソン氏、於・静岡県立大学、2023年6月21日。
- 第3回「静岡産品世界進出の可能性と課題ーオランダ、スペインで観察したこと」宮崎晋生、於・静岡県立大学、2023年6月23日。
- 第4回「映画祭の街、サン・セバスティアン」映画史研究家・サン・セバスチャン国際映画祭駐日デレゲート・ダニエル・アギラル氏、於・静岡県立大学、2023年7月18日。
- 第5回「『不確実な将来』をどう生きるかーオランダから考える」アムステルダム日本語補習授業校（オランダ）校長・ライデン大学日本語講師・鈴木隆秀氏、於・静岡県立大学、2023年7月28日。

3月末には小窪がブリュッセル自由大学・パリなどを訪問し、欧州の政治動向について調査する予定である。その成果については令和6年度発表する。